

ねらい

地震時における幼児・児童・生徒の安全を確保するとともに、地域の防災拠点としての機能向上を図るために校舎・体育館等の耐震性能を向上させます。

現状と課題

- ・ 昭和56年新耐震基準以前に建設された校舎及び体育館については、耐震診断調査の結果、補強が必要なものについて、平成12年度から耐震補強工事を年次的に施工し、小・中学校においては、校舎（平屋建て等の小規模施設を除く）及び体育館の耐震補強工事を完了しています。
- ・ 残る未耐震の平屋建て等の小規模施設については、早期に耐震化を図る必要があります。

本市の耐震化状況(平成23年3月31日現在、文部科学省実施調査結果)

区分		全校数	全棟数 A	S57以後 建築棟数 B	S56以前 建築棟数	補強不要 棟数 C	補強済 棟数 D	補強 必要 棟数	診断 未実施 棟数	耐震化率 B+C+D/A
小学校	校舎	40	177	74	103	35	68	0	0	100.0%
	体育館		40	14	26	9	17	0	0	100.0%
	計	40	217	88	129	44	85	0	0	100.0%
中学校	校舎	22	90	40	50	14	36	0	0	100.0%
	体育館・ 武道場		39	23	16	4	11	1	0	97.4%
	計	22	129	63	66	18	47	1	0	99.2%
小・中合計	校舎	62	267	114	153	49	104	0	0	100.0%
	体育館・ 武道場		79	37	42	13	28	1	0	98.7%
	合計	62	346	151	195	62	132	1	0	99.7%
幼稚園	園舎	24	23	8	15	7	8	0	0	100.0%

今後の方向性

- 耐震化を要する笹川中学校武道場について、改築により整備を図ります(平成23年度設計、24～25年度改築工事予定)。
- 耐震化を要する平屋建て等の小規模施設について、平成23年度に2校2棟の補強工事を行い、計画整備の終了を目指します。